

カラー連載

思い出のマテリアル②

暮らしを彩るマキシマムカード

田丸有子さん(東京都) ..... 1  
 封書10円時代の“記念・特殊切手”の楽しみ! ② [横山 裕三]  
 「年賀切手」 ..... 10  
 カラー版 魚木式郵趣② [魚木 五夫]  
 相対評価の原則 ..... 12  
 押さえておきたい“日本切手の壺”③ [山口 充]  
 菊切手の櫛型12×12<sup>1</sup>/<sub>2</sub>目打 ..... 16

注目の新刊

『教養としてのビジュアル切手百科事典  
 ～世界の名品で見る95のキーワード～』 ..... 14

連載

著名人の手紙 ⑮⑥ [新垣 千尋]  
 映画監督 鈴木清順 ..... 31  
 郵趣家の書齋 ～さまざまな切手収集の楽しみを訪ねて④ [佐伯 幸一]  
 斎藤 環さん  
 ～オーストリア最初のシリーズを追突～ ..... 32  
 切手女子流“切手の楽しみ方”⑩ [ばば ちえ]  
 「なでしこ切手倶楽部展2024」を開催しました! 34  
 JPS研究会発信! ここに注目! 収集のポイント⑩  
 テクノロジーを郵趣に活用 ..... 36  
 [志賀 格/パソコン郵趣研究会]  
 軍事郵便収集の魅力⑩ [玉木 淳一]  
 満洲事変〈上〉1931-32 ..... 38  
 新連載 今月のミニベックス～みどころ紹介～①  
 第16回テーマティク研究会切手展 ..... 39  
 新連載 風景印ピックアップ①  
 2024年(令和6)の風景印～前編～ ..... 40

丸ごと! 世界新切手ニュース(63カ国972種を掲載)

編集部おススメ! 話題の新切手から ⑮③ ..... 49  
 ワールドスタンプナウ ⑳⑨ [横山 哲太郎]  
 魅力的なアボリジニアートの世界観 ..... 50  
 『ビジュアル版』(図版ページ) ..... 52  
 『テキスト版』(解説ページ) ..... 65

情報・コミュニケーション

2月のイベント・スケジュール ..... 18  
 日本新切手ニュース: 2025年度切手発行計画、「春のグリーティング」ほか 20  
 郵趣の目・国内情報: 普通切手フィラポスト製350円登場か? ほか ... 25  
 郵趣の目・海外情報: 「最も美しい(ヨーロッパ)切手」2024年人気投票結果ほか 27  
 切手の博物館ニュース: 「あれも地図・これも地図」展 ほか ..... 29  
 BOOKS: 「切手の歴史」、「銀座伊東屋の仕事」 ..... 41  
 読者のページ おたより喫茶室 ..... 42

協会事業のページ

JAPEX記念出版物のご案内 ..... 75  
 正会員・維持会員への移籍手続きのご案内 ..... 76  
 STAMP-SHOW2025出品募集& 寄附金のお願 ..... 77  
 研究会一覧/研究会・支部定例会 ..... 78  
 「全国ミニ切手展」案内/開催録/次号予告 ほか ..... 79  
 公益財団法人日本郵趣協会のご案内 ..... 80

巻頭言

郵便を楽しむ

個人的な話で恐縮ですが、以前よく描いていた絵を、最近、再開しました。今のところ、もっぱら風景画を描いています。好きで絵を描いているのですが、これを郵趣に関連づけられたらもっと楽しいだろうなと思いたどり着いたのが、自作の絵葉書です。旅行に行く際に、その地の風景を水彩画で描き、それを印刷することで絵葉書を作ります。この絵葉書に、その地方の風景印を押してもらい、旅先からの「たより」をしたためて友人に送ります。

電子メール全盛の今日ですが、郵便には電子メールにない良さがあります。電子メールは短時間で返事がもらえるので、ビジネスに使うには便利です。一方で、思いを伝えるには、電子メールより郵便の方が相応しい気がします。

そんなことを考えて、旅先からの「たより」に自作の絵葉書を使い始めました。旅先からの自作絵葉書に対して、近況報告を兼ねた返事送ってくれる友人もいます。そこには、最近行った旅の話、家族や自身の近況など、電子メールではあまり書かないようなことが多く書かれていて、楽しみにしています。

これまででも、年賀状や暑中見舞いといった季節の「たより」で、友人と近況を連絡しあっていましたが、そういったものとは趣が異なる旅先からの「たより」には、季節の「たより」にはない内容が多いと感じます。みなさんも、旅先などから、知人に「たより」をしたためてみてはいかがでしょうか。新たな発見があるかもしれません。

JPS理事長 山田 廉一



表紙の切手より

昨年発行されたフランスの「ヨーロッパの首都シリーズ」(55・66€)は、スイスの首都ベルンに本部を置くUPUの設立150年を記念しています。世界遺産に登録されているベルン旧市街は、中世の面影を残す建造物が最大の魅力となっており、切手には牢獄塔や大聖堂、近世に建造された連邦院、さらには街のシンボルである時計塔が描かれています。